

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 9 月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 ぎふ木遊館サテライト施設整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 木育推進係 電話番号：058-272-1111(内4346)

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 36,666 千円 (現計予算額： 3,334 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	3,334	0	0	0	0	0	3,334	0	0
補 正 要求額	36,666	0	0	0	0	0	36,666	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向け体験・学習活動などソフト面の充実に取り組むとともに、「ぎふ木育」の拠点施設となる「ぎふ木遊館」及び「森林総合教育センター(morinos)」を令和2年度に整備した。

今後は、「ぎふ木育」を県全体に広く普及させるため、誰もが身近に「ぎふ木育」を体験できるよう、「ぎふ木遊館」から距離的に遠いなど来館の機会が少ない地域に、サテライト施設を整備する必要がある。

令和6年度に東濃地域(中津川市)及び飛騨地域(高山市)にサテライト施設を整備したが、今後西濃圏域及び中濃圏域にも整備する必要がある。

(2) 事業内容

・市町村・民間事業者等が、県と連携しぎふ木遊館のサテライト施設を整備するための経費に対し支援。

・市町村・民間事業者等から提案を公募し審査、予算の範囲内で補助。

・令和7年度は2施設の設計委託費、1施設の施設の改修費、木製品等の導入費を支援。

(3) 県負担・補助率の考え方

県が推進する「ぎふ木育」の発展に寄与することから、県負担とする。

- ・設計委託に要する経費補助

補助率：2/3以内（補助対象経費上限額：2,500千円／施設）

- ・施設の改修費、木造化・木質化補助

補助率：2/3以内（補助対象経費上限額：50,000千円／施設）

- ・木製品、木製遊具、木のおもちゃの導入補助

補助率：2/3以内（補助対象経費上限額：5,000千円／施設）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	36,666	施設の改修費 木製品等の導入費
合計	36,666	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

第3 森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

1-2 んふ木育30年ビジョンの実現に向けた「ぎふ木育」の新たな展開

(2) 国・他県の状況

同様の事業は国に無い。

(3) 後年度の財政負担

ぎふ木遊館サテライト施設の整備が完了する年度まで財政負担（38,333千円／施設）が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

市町村、民間事業者等が実施するぎふ木遊館サテライト施設の整備等に要する経費を支援する制度。

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業
☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ぎふ木遊館サテライト施設整備事業
補助事業者（団体）	市町村、民間企業、特定非営利活動法人、その他の法人若しくは法人以外の団体又は複数の法人等で構成される団体 (理由) サテライト施設を効果的かつ効率的に運営できる団体。
補助事業の概要	(目的) 「ぎふ木遊館」から距離的に遠いなど来館の機会が少ない地域にサテライト施設を整備することで、誰もが身近に「ぎふ木育」を体験できるようにする。 (内容) 市町村・民間事業者が、県と連携しぎふ木遊館のサテライト施設を整備するための経費に対し支援する。市町村・民間事業者から提案を公募し審査、予算の範囲内で補助を行う。
補助率・補助単価等	定率 (内容) ・設計委託に要する経費補助 補助率：2/3以内（補助対象経費上限額：2,500千円／施設） ・既存施設の改修費・木造化・木質化補助 補助率：2/3以内（補助対象経費上限額：50,000千円／施設） ・木製品、木製遊具、木のおもちゃの導入補助 補助率：2/3以内（補助対象経費上限額：5,000千円／施設） (理由) 県民に対し「ぎふ木育」を普及するための施設であるため。
補助効果	「ぎふ木育」が各地域の県民に浸透する。
終期の設定	終期：未定 (理由) 市町村等の要望に基づきぎふ木遊館サテライト施設を整備するものであるため。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 「ぎふ木遊館」から距離的に遠いなど来館の機会が少ない地域にサテライト施設を整備することで、誰もが身近に「ぎふ木育」を体験できるようにする。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R4)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度
	—	—	—

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	ぎふ木遊館サテライト施設候補地の募集を実施（R4.11.1～12.23）し、3団体から応募があり、ぎふ木遊館サテライト施設候補地審査会議（R5.1.16）により、「中津川市」、「ひだ高山 木の家ネット」を施設候補地に決定（R5.3.29）。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	中津川市をサテライト施設事業決定し（R5.8.24）、補助金交付決定（R5.9.15）、事業着手（R5.11.1）、繰越承認（R6.3.13）。 飛騨木遊館運営協議会をサテライト施設事業決定し（R5.10.11）、補助金交付決定（R5.10.27）、事業着手（R5.10.27）、繰越承認（R6.3.13）。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	令和7年3月に施設整備候補地として、郡上市及び揖斐川町を決定している。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 1	「なかつがわ 森の木遊館」の令和6年度の入館者数は計画の60人/日に対し、51.1人/日、「ひだ木遊館 木っずテラス」の入館者数は計画の35人/日に対し、58.8人/日となった。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	令和6年1月より、ぎふ木育拠点施設連携会議を毎月開催しており、運営に関する情報共有等を実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設整備後に運営を行う人材の確保・育成が必要である。
--

(次年度の方針)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 市町村等の要望及び、サテライト施設の整備箇所等を踏まえ、新たなサテライト施設の整備を進める。
